

2022年度
(令和4)

認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
－ 活動報告書 －
REPORT



認定NPO法人 アルテピアッツァびばい

代表者 理事長 磯田憲一

理事 12名

監事 2名

スタッフ 12名（うち常勤6名）

沿革

平成17(2005)年4月 設立総会
 平成17(2005)年8月 NPO法人認証
 平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
 平成19(2007)年4月 カフェアルテ、ストゥディオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
 平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
 平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
 平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
 平成22(2010)年4月 アルテ市民ボポロ制度発足
 平成25(2013)年2月 北海道地域文化選奨、及び共同通信社地域再生大賞優秀賞受賞
 平成26(2014)年2月 認定NPO法人に認定される
 平成30(2018)年1月 第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」受賞
 平成31(2019)年1月 認定NPO法人の有効期間更新

美唄市が旧美唄市立栄小学校跡地に芸術文化交流施設「アルテピアッツァ美唄」を開設して30年の歳月が経過しました。NPO法人アルテピアッツァびばいが指定管理者として、炭鉱の記憶と安田侃氏の彫刻、そして訪れた方々の笑顔や子どもたちの歓声が織りなす風景や空間の維持につとめて18年目となります。これまでさまざまなご支援、ご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

30年を迎えたこれからは、公共空間としての意味と役割を深め、この「場」をどう活かしていくかを発信していくことが大切です。美唄市と連携協力しながら、思い新たに次なるステップへとNPOの運営に励んでまいります。その取り組みの一つとして、かつて、この空間に「比類なき力」を与えてきた「幼児教育機能」を多様な形で再生する取り組みを進めるために、「アルテの丘こだま基金」を創設しました。子どもたちの歓声がこだまする“希望の風景”を再び取り戻すために多くの方からご寄附を頂戴したいと願っております。

皆様の更なるご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 磯田憲一



寄附ご支援のお願い

いただいたご寄附は、管理運営のために大切にさせていただきます。

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、「誰もがこころを上げられる芸術広場」を理念として入場料は設定していませんが、皆さまからのご寄附を管理運営費に充てています。このかけがえのない空間をゆるぎなく次代に伝えていくために、広く皆さまからのご支援をお願い申し上げます。



WEB決済



決済ページ(シンカブル)



郵便振替

郵便局に備え付けの「払込取扱票」で寄附が可能です。
 ※アルテ市民ボポロの方は市民会費払込の際に合算しての寄附もできます

郵便振替口座	02740-3-63900
加入者名	特定非営利活動法人アルテピアッツァびばい
※通信欄には「寄附」とご記入ください。	

銀行振込をご希望の方は事務局までお問い合わせください

その他、直接
お越しの際は、

寄附箱



手渡し



＜認定NPO法人への寄附金は確定申告で寄附金控除の対象となります。＞

NEWS

● 地域創造大賞受賞

令和4年度地域創造大賞(総務大臣賞)を安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄が受賞し、1月20日に東京で表彰式が行われ、板東知文美唄市長と磯田憲一理事長が出席しました。この賞は、地域における文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに功績のあった公立文化施設を顕彰するもので、今年度は全国で5施設が受賞しました。

今回の受賞では、“自然と彫刻が調和した芸術広場”により誇りを醸成してきたことが評価されました。美唄市出身の彫刻家・安田侃、市、住民が一体となり、「土地の記憶を繋ぐ木造校舎・自然・芸術」が調和した美術館を実現し、ガイドツアーや石と向き合い自身の心を形にする「こころを彫る授業」などを通じて、芸術広場を「こころのふるさと」として後世に伝える文化のまちづくりを推進してきたことが評価されました。



● アルテピアッツァ美唄・30年“次なるステップへ”事業 <アルテの丘こだま基金創設>

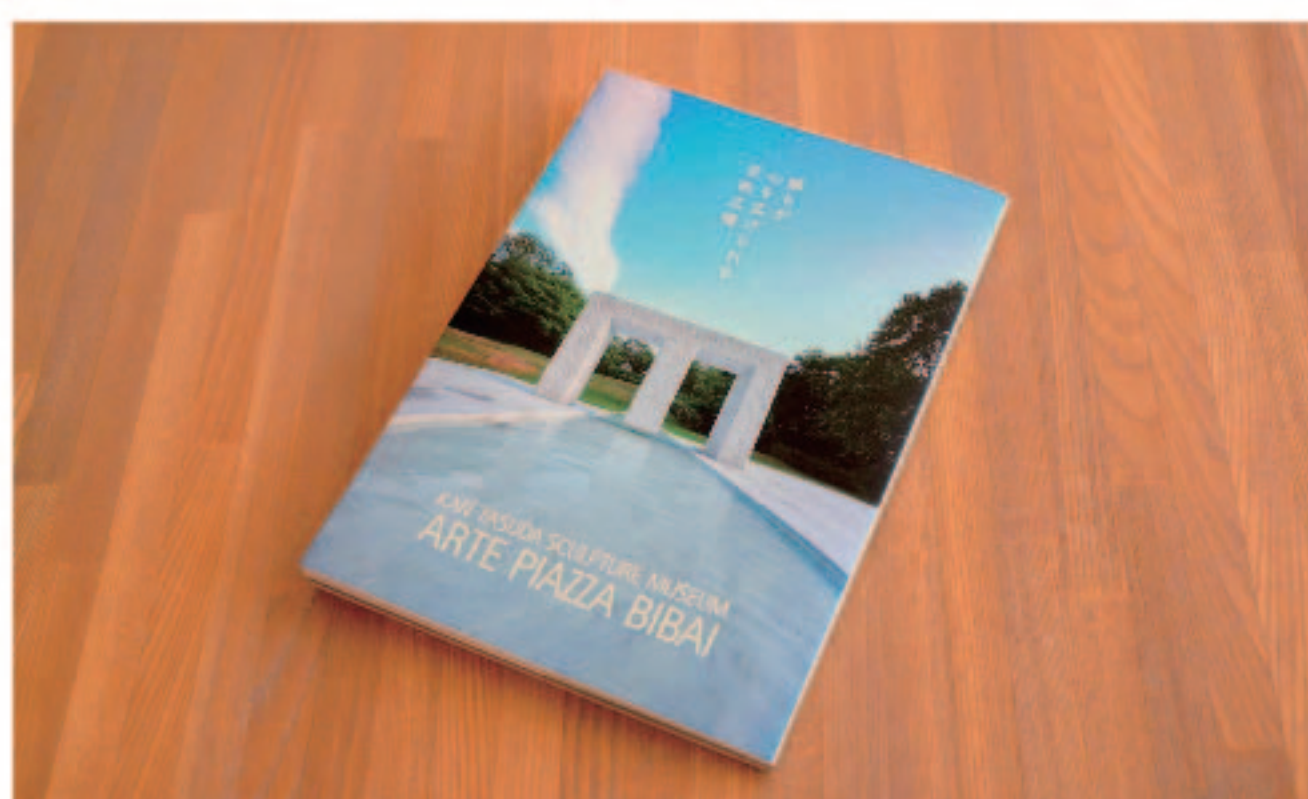
アルテピアッツァ美唄の木造校舎1階にあった美唄市立栄幼稚園は、2020年3月に惜しまれつつ65年の歴史に幕を下ろしました。アルテピアッツァ美唄開設の契機ともなったこの栄幼稚園があった風景は、唯一無二のものでした。美唄市教育委員会は、この世界に例をみない自然豊かな芸術環境を活かした幼児教育の場としての再生と活用、地域を超えた子どもたちの活動の場としての活用などの検討を進めています。

そうした活動に資するため、2022年9月、「アルテの丘こだま基金」を創設しました。この空間に比類なき力を与えてくれる子どもたちの歓声がアルテの丘にこだまする“希望の風景”を取り戻す取組みに活用してまいります。



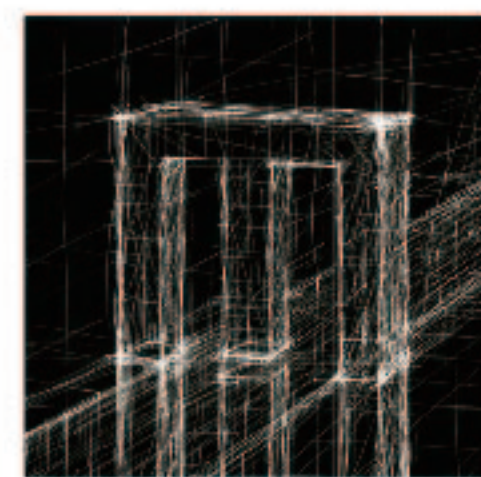
● 【安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄30年記念刊行】誰もが心を広げられる芸術広場

美唄市教育委員会から委託を受け、アルテピアッツァ美唄オープン30年を記念した書籍を刊行しました。30年の時を重ね、一人ひとりの心の故郷(ふるさと)として育ったかけがえのないこの空間を次世代に繋いでいきたい—そんな思いをもって、制作を進めました。制作チームには、NPOスタッフの他、編集者の来嶋路子さんとデザイナーの三善俊彦さんが加わり、アルテピアッツァ美唄のこれまでと今を1冊にまとめました。より多くの方に手に取っていただき、アルテのあゆみについて知っていただければと思います。



30th Anniversary

アルテピアッツァ美唄 30 周年



30th Anniversary of
KAN YASUDA
SCULPTURE MUSEUM
ARTE PIAZZA BIBAI

記念ロゴマーク

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は1992年7月に開館し、2022年7月で30年を迎えました。昨年の8月から9月にかけて「“次なるステップへ”記念講演 中村桂子 アルテで語る『生きものとしての人間のつながり』～生命誌からのメッセージ～」、「ジョルジョ・アンジェリ(石工職人)×安田侃(彫刻家)トークショー」、展覧会「安田侃彫刻展『時に触れる』」、「ナイトミュージアム」を開催しました。

・8月20日(土)

“次なるステップへ”記念講演

中村桂子 アルテで語る「生きものとしての人間のつながり」 ～生命誌からのメッセージ～

JT生命誌研究館名誉館長であり、生命科学のレジェンドとも言われる中村桂子さんをお迎えし、記念講演「中村桂子 アルテで語る『生きものとしての人間のつながり』～生命誌からのメッセージ～」を開催しました。小さな生きものたちの声に耳を傾けると、地球上のすべての生きものは38億年かかって進化していることがわかり、人間もその一つであり自然の一部だという、人としての在りように対する根源的な問いかけとも言える、示唆に富むお話をいただきました。また、子どもたちが農業で学ぶことによって、生きもののつながりの中にいることを体感できた喜多方市の事例も紹介され、この講演を契機に美唄市の小学校では農業科の取り組みが始まることになりました。

・8月21日(日)

トークショー「ジョルジョ・アンジェリ(石工職人)×安田侃(彫刻家)」

彫刻家・安田侃さんの制作を半世紀に渡って支え続けた石工職人、ジョルジョ・アンジェリさんをイタリアからお迎えし、安田さんとの対談形式でお話を伺いました。2人の出会いから、これまでの作品制作や展覧会のこと、ジョルジョさんが父のように慕うイサム・ノグチ氏に関する話など多岐にわたり、最後にジョルジョさんが「あと20年はKANと仕事をしたい」とお話されると、会場は拍手で包まれました。ジョルジョ・アンジェリさん、安田侃さん、2人の信頼関係の強さが伝わる数々の貴重なお話を聞くことができました。

・8月20日(土)-9月26日(月)

安田侃彫刻展「時に触れる」

1980年代に制作されたものから2022年に制作された新作まで、屋外に3点、ギャラリー(木造校舎2階)に11点、安田侃さんのブロンズ彫刻が置かれました。青空が広がる時、しとしと冷たい雨の時、影が伸びる夕暮れ時…、屋外、屋内ともに周囲の環境と調和しながら、それぞれの彫刻が変わることなくその場所に佇みました。そして、この彫刻展では染色家・柚木沙弥郎さんの作品も特別に展示しました。窓から入る風に揺れる布とどっしりと動かぬ彫刻、対照的なふたつの作品が静かに来訪者の方々を迎え入れていました。

・9月3日(土)、4日(日)

ナイトミュージアム

夕方になり日が傾くと、ギャラリー(木造校舎)では、夕日によってできる彫刻の陰影や窓枠のシルエットが彫刻に重なる様子をじっくりと見ていらっしゃる方がたくさんいました。屋外では、ライトアップされた彫刻が日中とはがらりと印象を変えました。刻々と辺りが暗くなるにつれ彫刻が浮かび上がるように存在感が増し、さらに、水の広場の池と流路に灯されたキャンドルが神秘的な雰囲気を作り出していました。2日間ともお天気に恵まれたので、濃紺の空と月と彫刻の風景を一緒にお楽しみいただけたのではないのでしょうか。



※



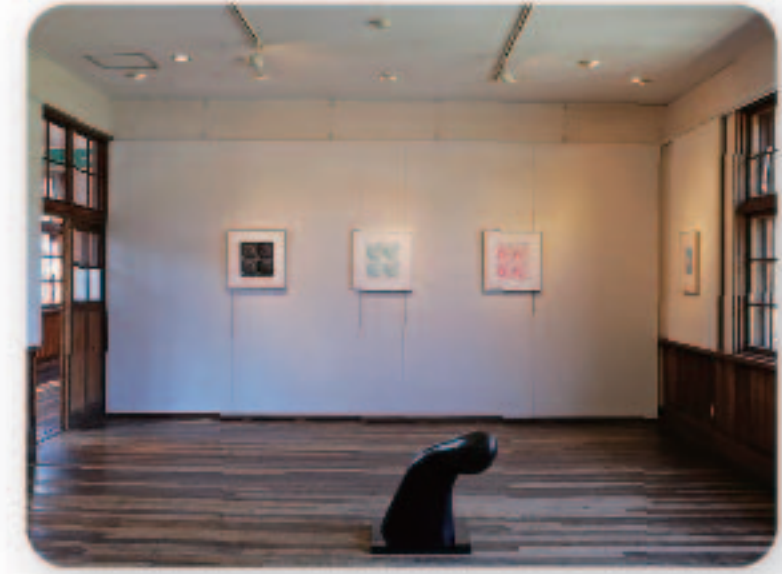
photo:katomi
(※を除く)



※
5

4

4/20-5/9 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄企画展「安田侃シルクスクリーン展」
4/23, 30 春のクリーン会（折れ枝集め）



5

6

6/25 彫刻「地人」「意心帰」移動設置
7/16, 7/17 安田侃の「こころを彫る授業」
8/10-22 思い出の炭鉱写真展
8/13 アルテの盆踊り
8/15 炭鉱映像館



7

8

8/20 【アルテピアッツァ美唄・30年“次なるステップへ”事業】記念講演
中村桂子 アルテで語る「生きものとしての人間のつながり」～生命誌からのメッセージ～
8/21 【アルテピアッツァ美唄・30年記念事業】
トークショー「ジオルジョ・アンジェリ（石工職人）×安田侃（彫刻家）」
8/20-9/26 【アルテピアッツァ美唄・30年記念事業】安田侃彫刻展「時に触れる」
（野外展：8/20-9/26 ギャラリー展：9/1-9/26）

9

10

9/1 アルテの丘こだま基金スタート
9/3, 4 【アルテピアッツァ美唄・30年記念事業】ナイトミュージアム
9/17 2023年カレンダー販売開始

10/16 秋のポポロウォーキング



11

12

1

2

3

2/11-19 アーカイブ資料公開
2/12 ポポロZoomミーティング



3/25, 26 小学生のための「こころを彫る授業」

アルテピアッツァ美唄を守る

○施設および環境の維持・管理・保全



日常的にケアをして彫刻を守る予防的保全として、日々の彫刻清掃、「水の広場」の定期的な清掃作業の他、大理石彫刻「意心帰」「真無」の保護コーティング、長年安田侃彫刻のブロンズ制作に携わる職人の方に助言をいただきながら、屋外にあるブロンズ作品にも2回保護コーティングを施しました。凍結/融解によるダメージから彫刻を守るために積雪前には、白大理石彫刻と一部ブロンズ彫刻に保護シートをかけています。位置が変わったことに伴い、ブロンズ彫刻「地人」にも設置以来初めて保護シートをかけました。

自然環境の保全として、6月には北海道立総合研究機構林業試験場の協力を得て、敷地内にある樹木の点検を行いました。倒木などの危険がないか、樹木の健康状態を確認するほか、

周囲の環境にも配慮して総合的に見ていただき、必要な手当てをしました。



設置者である美唄市により計画されている大規模修繕工事の初年度分として、アートのスペース(旧体育館)と木造校舎の屋根の張り替えが行われました。また、アートのスペースに遮光

性ロールカーテンと常設スクリーンが設置されました。

その他、地元企業の広瀬建設工業株式会社様の地域貢献事業として、屋外にある物置(施設管理用備品入れ)の床と壁の補修をしていただきました。



○来訪者やお客様への対応



2022年度は、国内のコロナ関連の規制が緩和され、当館としては3年ぶりの通常開館となり、前年度の1.5倍以上、コロナ以前の8割程度にあたる約2万3000名のお客様が来訪されました。旧栄幼稚園活用検討委員会の提言に応じて、教育委員会が市内幼稚園と保育所へアルテピアッツァ美唄の積極的利用を呼びかけたことから、水遊びや広場で駆け回る園児たちの姿も多くみられました。また、海外からの入国規制が緩和された10月以降には、少し

ずつ海外からのお客様が戻り、団体ツアーでの来訪もありました。

オンシーズンに毎週土曜日10時から行っているガイドツアー(予約不要・無料)は5名以下の少人数で実施されることが多く、その回ごとにお客さまに合わせて敷地内をご案内しているため、ご好評いただいています。その他、例外的な施設利用のお問い合わせがあれば、その都度、著作権・施設利用ガイドラインに照らし合わせながら対応しています。

○コンサート・イベント・展覧会

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄のアートスペース(旧体育館)とギャラリー(木造校舎2階)は、それぞれ貸しスペースとしてもご利用いただいています。今年度、アートスペースでのコンサート・イベントは24件、ギャラリーでの展覧会は15件の利用があり、そのうち、初めて利用される方がアートの

スペースでは6件ギャラリーでは4件あり、これをきっかけにその後もアルテピアッツァ美唄に足を運んでくださるようになった利用者もいました。コロナを理由としたキャンセル・延期はなく、いずれも感染症の基本的な対策を行いながら、開催しました。



アルテピアッツァ美唄を楽しむ

○企画展

2022年度のGW企画展は「安田侃シルクスクリーン展」を開催しました。コロナ禍でなかなか思うようにならない生活の中、少しでも皆さまの心に明るい陽射しを届けられたら、と企画しました。摺り師・佐藤浩司さんのアトリエにお邪魔し、当時の話をお聞きする機会にも恵まれ、私たち

スタッフにとっても、貴重な体験をすることができました。

会期中は2273名の方が来場され、色鮮やかな安田侃さんの「色の世界」をお楽しみいただきました。



○体験工房スタジオアルテの活用（「こころを彫る授業」「アルテ〇〇の学校」など）



2022年度は、新規で「こころを彫る授業」に参加してくださる方が例年より多かったです。コロナ禍で、「自分と向き合う時間」が見直されたことも影響していたと感じます。

また、2年9ヶ月ぶりに安田侃さんが講師をつとめる「安田侃の『こころを彫る授業』」を開催し、全国から延べ約80名の方が参加してくださいました。開催を待ちわびていた方も多く、開始早々、ノミを打つ音が会場に響き渡っていました。

「小学生のための『こころを彫る授業』」は前年

度同様、時間を短縮し、半日のプログラムにしましたが、定員を増やして行い、2日間で計12名の小学生が市内外から参加しました。前年度から続けて参加してくれる子もいて、集中して2時間ほど石を彫っていました。

「誰もが参加できる小さな発見の場」というコンセプトのもと、不定期に開催している「アルテ〇〇の学校」は、次年度には再開できる様、準備を進めております。

○アルテ文庫

ギャラリーに設置している、安田侃さんセレクトの書籍が並ぶ「アルテ文庫」。いただいたご寄附より、書籍を購入し、本棚が充実していきます。2022年度は2冊が新たに加わりました。この数年、書籍紹介カードの製作が出来ていないのが課題のひとつです。



○情報発信

企画展や30年記念事業の際には、各所へプレスリリースを発行し、情報周知に協力を仰ぎました。日々のアルテの様子を伝えるための情報発信の手段として、今年度も当館公式HPやSNS(Facebook、Instagram)を活用しました。それぞれの特性を学び、適切なタイミングと手法で発信することを心がけました。また、年2回発行している「Arte通信」は当館施設内に配置し、来訪者に手にしていただいていることに加え、北海道内外の約120の美術館等関係施設へ送付しています。その他、地方局のテレビ、ラジオ取材各1件に対応しました。

○アーカイブ活動

2013年度に着手したアーカイブ事業では、日常的にアルテピアッツァ美唄関連の掲載紙スクラップや「ポポロだより」など事務局制作物の保管を続けています。2月に開催したアーカイブ資料公開では、現在アルテピアッツァ美唄がある場所にあった「美唄市立栄小学校」をテーマとしました。当館で保管していた校舎図面や改修前後の写真、さらに美唄市郷土史料館にご協力いただき、卒業アルバムから当時の校舎の様子がわかる写真など新たに関連資料を集め、展示しました。地元紙2社、市役所広報にも取材していただき、13日間で延べ73名にご覧いただきました。

○炭山(やま)の記憶

アルテピアッツァ美唄では炭鉱町で過ごした人の故郷として、その記憶や思いを次の世代に語る場として、炭山の歴史を伝える活動をしています。

美唄へ帰省される方の多いお盆に「思い出の炭鉱写真展」を開催、往時の炭鉱地区の白地図を掲示し、思い出を来訪者に記入していただいています。期間中1347名の来館がありま

した。8月15日に開催した「炭鉱映像館」では、市内在住の金沢俊美さんのご協力で往時の貴重な映像を上映することができました。

8月13日には、2年ぶりに「アルテの盆踊り」を開催しました。時間を短縮し、屋台もなしという開催でしたが、多くの皆さまにご参加いただきました。2022年度も、たくさんの方々と共に水の広場をキャンドルで彩ることができました。



○彫刻修復事業

2022年度は、洞爺湖町から委託を受け、洞爺湖畔にある白大理石作品「意心帰」(1987年設置)のメンテナンスをしました。この「意心帰」は、1977年の有珠山噴火から10年の節目に、噴火による犠牲者への慰霊の碑として、また犠牲者と今を生きる人々(町民)を繋ぐものとして建立され、世界各地に設置されている「意心帰」の連作の原点となる最初のフォルムでもあることから、安田侃作品の中でも重要な作品のひとつと言えます。今回は彫刻の表面に蓄積した汚れの除去、欠損部の補修、大理石質に配慮した保護剤の塗布をした他、今後の定期的なメンテナンスのご提案をしました。昨年度に引き続き、北広島市にある白大理石彫刻作品「新生」のメンテナンスも行いました。また、美唄市から相談を受け、市役所前に設置されているブロンズ立像(作者/田畑功)の洗浄、コーティングを美唄市職員と共にしました。



アルテピアッツァ美唄を未来へつなぐ

○アルテ市民ポポロ活動

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄を未来へ繋ぐための様々な活動しています。そのひとつが、イタリア語で「市民」を意味し、アルテピアッツァ美唄を次世代へ繋いでいく思いを共通項としたコミュニティ「アルテ市民ポポロ」です。年3回発行している「ポポロだより」も今年度で27号となりましたが、号を重ねるごとに嬉しい感想をいただくことも多くなりました。今年度から新たな読み物「アルテアーカイブ」もはじめました。

アルテ市民の意見交換の場として毎年6月に開催している「ポポロミーティング」は、2022年度は2月に開催しました。引き続きオンラインでの実施でしたが、開始時間を夕方からとして、スタッフや参加者の方がゆっくりと交流できる様になりました。ただ、今まで通りの時間帯が良いという声や現地開催をのぞむ声もあり、次年度のポポロミーティングの方向性を検討中です。



アルテ市民 popolo		団体会員
内 容	アルテピアッツァ美唄を次世代へつないでいく思いを共通項としたコミュニティ。	
会員になると	●アルテ市民証が発行されます。 ●アルテ通信、popoloだよりが届き、アルテの現在（いま）を知ることができます。 ●ポポロミーティングでは意見交換やポポロ同士の交流をすることができます。 ●「こころを彫る授業」を1000円割引（継続参加は200円割引）で受けられます。 ●不定期開催の「安田侃の『こころを彫る授業』」のお知らせが届きます。	
金 額	●市民会費 ポポロ 3,000円 コポポロ（中学生以下） 500円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	●団体会費 団体会員 一口 30,000円 ※期間は毎年4月1日～翌年3月31日までの1年間です。
●団体会員 アーキサイトメビウス株式会社 有限会社東オートセンター いとう写真 株式会社カンディハウス 株式会社カンディハウス札幌 株式会社岸本組 学校法人光塩学園 札幌アルト株式会社 札幌通運株式会社 主治医のような社会保険労務士法人 オフィスオカモト 空知商工信用組合 玉田産業株式会社 宗教法人長延寺 医療法人トルチュ氏家記念こどもクリニック 東戸公認会計士事務所 一般社団法人美唄市医師会 美唄市市議会議員会 株式会社美唄自動車学校 美唄市農業協同組合 広瀬建設工業株式会社 北星学園大学 北海道クリーン・システム株式会社 村松法律事務所 メガネの三愛 山口物流株式会社 株式会社雪屋媚山商店 税理士法人TACS 有限会社TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE 他1社 (2023年3月31日現在)		

○書籍・グッズ

書籍・グッズなどの販売事業は、アルテピアッツァ美唄を未来へ繋げるための貴重な収入源となっています。2022年度は、シルクスクリーン展にあわせた、グッズや限定クッキーの販売など、初めての挑戦もしました。また、アルテピアッツァ美唄になかなか足を運べない方でも購入いただける様、新たにオンラインショップを開設しました。



○カフェアルテの運営

2021年度から準備していました、美唄産のハーブを使った新メニュー「美唄産ハーブティー（カモミール）」を4月から提供開始しました。男女問わず注文して下さる方が多く、今後は種類を増やすことなども検討しています。

新型コロナウイルス感染拡大前のようにお客さまにご来店いただけるようになりましたが、消毒・パーテーションなど必要な対策は引き続き実施し、安心してカフェを利用できる様に心がけました。

また、韓国や台湾からの団体ツアーでカフェアルテを利用して下さることも増えてきました。



(単位:円)

活動計算書

(2022年4月1日から
2023年3月31日まで)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費			
ポポロ市民会費収益	1,632,000		
コポポロ市民会費収益	5,500		
会員会費収益	130,000		
団体会費収益	990,000	2,757,500	
2. 受取寄附金			
募金箱寄附	1,469,242		
寄附金	1,510,097		
こだま基金寄附	3,181,611		
アルテ文庫寄附	50,500	6,211,450	
3. 事業収益			
指定管理者事業収益	27,615,925		
30周年事業収益	4,615,912		
工房活用事業収益	1,791,410		
教育普及事業収益	0		
広報事業収益	192,755		
炭山の記憶事業収益	8,700		
喫茶事業収益	9,901,190		
販売事業収益	6,181,299		
連携事業収益	7,175,460		
アルテ市民popolo事業収益	3,900	57,486,551	
4. その他収益			
受取利息	154		
雑収入	24,900	25,054	
経常収益計			66,480,555
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	23,719,961		
(2)その他経費	30,057,504		
事業費計		53,777,465	
2. 管理費			
(1)人件費	78,005		
(2)その他経費	2,573,376		
管理費計		2,651,381	
経常費用計			56,428,846
税引前当期経常増減額			10,051,709
法人税等			80,000
当期正味財産増減額			9,971,709
前期繰越正味財産額			15,650,322
次期繰越正味財産額			25,622,031

事業費・管理費 内訳

科目	指定管理	30周年事業	こだま基金	工房事業	アルテ文庫	教育普及	広報	アーカイブ	炭山の記憶	喫茶	販売	連携事業	アルテ市民	管理費	合計
(1) 人件費															
給与手当	14,688,124			1,153,585			576,792		592,771	3,936,383		359,455			21,307,110
福利厚生費	1,961,379			3,461			1,730		1,780	443,422		1,079		78,005	2,490,856
人件費計	16,649,503	0		1,157,046	0	0	578,522	0	594,551	4,379,805	0	360,534	0	78,005	23,797,966
(2) その他経費															
売上原価										2,730,161	2,590,032				5,320,193
業務委託費	3,633,376	1,784,200										2,450,700		1,828,853	9,697,129
諸謝金		448,862	17,000				12,068		47,948	11,900		10,200	5,100	34,937	588,015
印刷製本費		941,600	690,060	44,000			200,200		13,740		4,880	1,469,210	172,330	47,380	3,583,400
旅費交通費	104,820	255,577	2,440				1,200		2,100	920	5,600	16,340		26,500	415,497
通信費	230,169	486,666	8,650	1,890			58,759		4,711	118,014	68,735	500	366,920	96,411	1,441,425
消耗品費	629,748	17,414		165,440			42,041	440	9,033	505,491	73,962	47,051	4,357	86,153	1,581,130
材料費				132,000											132,000
修繕費	184,614									54,725					239,339
水道光熱費	5,748,769									143,929				10,994	5,903,692
地代家賃										120,000				40,000	160,000
賃借料															0
保険料	42,450	252,520		1,200						2,700		9,700	1,100	187,500	497,170
諸会費										6,350				18,000	24,350
研修費	8,000									3,500					11,500
慶弔費														3,850	3,850
租税公課	1,276,600	130,400		81,400			9,700		300	372,100	134,500	316,400	100		2,321,500
支払手数料	5,500													99,000	104,500
新聞図書費		5,919													5,919
広告宣伝費											78,430			8,800	87,230
支払報酬															0
会議費				10,000											10,000
交際費														23,670	23,670
減価償却費									22,000						22,000
雑費	1,750	14,450	9,762	2,200					16,841	144,918	152,031	1,100	52,991	61,328	457,371
その他経費計	11,865,796	4,337,608	727,912	438,130	0	0	323,968	440	116,673	4,214,708	3,108,170	4,321,201	602,898	2,573,376	32,630,880
費用計	28,515,299	4,337,608	727,912	1,595,176	0	0	902,490	440	711,224	8,594,513	3,108,170	4,681,735	602,898	2,651,381	56,428,846

※貸借対照表はホームページでご覧になれます。印刷したものが必要な方は事務局までご連絡ください。

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄 30年のあゆみ

The history of the 30 years

- 1991年 閉校した旧栄小学校の体育館を交流スペース、アートのスペースに改修。
- 1992年 7月、芸術文化交流施設「アルテピアッツァ美唄」としてオープン。「真無」「吹雪」など5作品を野外に展示。
- 1994年 「トリフォリオの広場」を整備。
- 1997年 「水の広場」がオープン。
- 1999年 旧栄小学校校舎2階に「ギャラリー」がオープン。彫刻13点を設置。
- 2001年 北海道が創設した「北のまちづくり賞」知事賞受賞。
- 2002年 安田侃さんが「第15回村野藤吾賞」受賞。受賞対象作品「アルテピアッツァ美唄」。
- 2003年 「天翔の丘」を整備。天皇皇后両陛下（現上皇皇后陛下）、アルテピアッツァ美唄を行幸啓。「安田侃の世界一天にむすび、地をつなぐ」展、北海道立近代美術館・アルテピアッツァ美唄で開催。
- 2005年 「音の広場」を整備。
- 2006年 指定管理者制度により、NPO法人アルテピアッツァびばいが管理運営を開始。
- 2007年 カフェアルテ、ストウディオアルテがオープン、「こころを彫る授業」を開始。
- 2012年 アルテピアッツァ美唄20周年記念安田侃作品展「触れる」を開催。
- 2016年 登録博物館（美術館）となり、「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」に改称。
- 2017年 アルテピアッツァ美唄25周年記念「安田侃ブロンズ展一時をつなぐ」「安田侃のまなざし」展、「プッチーニ“蝶々夫人”のゆうべ in アルテピアッツァ美唄」を開催、アルテピアッツァ美唄25周年作品集を発売。
- 2020年 美唄市立栄幼稚園閉園
- 2022年 アルテピアッツァ美唄30年記念「“次なるステップへ”記念講演 中村桂子 アルテで語る『生きものとしての人間のつながり』～生命誌からのメッセージ～」、「トークショー『ジョルジョ・アンジェリ（石工職人）×安田侃（彫刻家）』」、「安田侃彫刻展『時に触れる』」を開催。「アルテの丘こだま基金」を創設。
- 2023年 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄30年記念刊行「誰もが心を広げられる芸術広場」制作、発売。
現在、屋内外あわせて45点の作品を展示している。



基本理念

誰もがこころを広げられる芸術広場

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄は、今を生きる全ての人が、無心に、自由に、思い思いの時間を過ごすための芸術広場です。

炭鉱で栄え、衰退していったこの土地の記憶、人々の思いを、場のエネルギーとして受け止める空間は、過去、現在、未来という時の流れの中で、静かに佇み続けています。そうしたかけがえのない空間となることを願いながら、美唄市と美唄市出身の彫刻家・安田侃によってこの美術館は作られました。

広がる景色の中に置かれた彫刻が、自然と一体となって息づくこの空間は、見る人自身のこころを映し、自分との対話ができる場所です。この空間が、この地に変わりなく在り続けることで、誰もが安心して帰れる「こころのふるさと」として、未来に繋いでいくため、以下の理念を掲げます。

- ・自然と人と芸術の新しいあり方を模索し、提案し続けます。
- ・地域と人、人と人をつなぐ交流の機会を作り、交流の場となります。
- ・地域の文化、芸術、学術の振興に貢献します。
- ・土地の記憶を受けつぎ、読み解きながら、次の世代へ伝えます。
- ・彫刻家・安田侃の研究を通して、その彫刻の精神を理解し、後世に伝えます。

※この基本理念は、平成28年度より始められた「美術館会議」において、この空間の目指すべき姿を言葉にするため、美唄市教育委員会とNPO法人アルテピアッツァびばいが協力し、まとめたものです。



ホームページ



オンラインストア



Facebook



Instagram

2022(令和4)年度
認定NPO法人アルテピアッツァびばい活動報告書
発行：認定NPO法人 アルテピアッツァびばい
発行日：2023年5月15日
表紙写真：小川重雄

● 開館時間

水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料(任意によるご寄附をお願いしています)

● 閉館日

毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月3日

● 交通

電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より80分(札幌で乗り換え)。
美唄駅下車、市民バス東線「アルテピアッツァ美唄」
行き乗車。(東明通り経由32分、旭通り経由19分)
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより35分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

● 定時ガイドツアー(4月下旬から11月上旬)

アルテピアッツァ美唄をスタッフがご案内します。
日時：毎週土曜日10時～(約30分) 無料
集合：アートスペース(旧体育館)前
※天候等により、予告なしに中止する場合があります。

安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

